

## 第一環境株式会社様、スマートデバイスのセキュリティ対策に 完全閉域網で運用可能な「FENCE-Mobile RemoteManager」を導入！

～ 資産管理やアプリケーション配信の機能で高い作業効率も実現 ～

株式会社富士通ビー・エス・シー(本社:東京都港区、代表取締役社長:小島 基、以下 富士通BSC)と都築電気株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:日浦 秀樹、以下 都築電気)は、第一環境株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:宮崎 勝己、以下 第一環境)様が、自社で開発・販売する水道事業体向け現場支援サービス「AQUA FINDER」に、富士通BSCの提供する「FENCE-Mobile RemoteManager」を導入しました。「FENCE-Mobile RemoteManager」は、社外に持ち出すスマートデバイスを統一の企業ポリシーで管理し、盗難・紛失時には遠隔で端末ロックやデータ消去を行うMDMツールです。本製品を導入することにより、第一環境様では、個人情報を扱う料金徴収業務を、スマートフォンで安全かつ効率的に遂行可能なサービスの提供を実現しました。

### ■背景

第一環境様は、1975年に創業以来、水道事業体からの委託による料金徴収業務や給水装置管理、施設運転・管理など、水道事業に関する幅広い業務を行っています。中でもICTで水道事業体のさまざまな業務を支援するトータルソリューション「AQUA-V シリーズ」の開発に力を入れており、今回新たにスマートフォンを活用して検針業務や、検針員の位置情報を取得できるソリューション「AQUA FIELDER」の追加に向けて検討を進めていました。コストや操作性等、スマートフォンの活用メリットを活かしつつ、より安全かつ効率的な運用・管理を行うため、外部からアクセスできない閉域網を採用し、さらにスマートフォンの盗難や紛失対策機能があるMDM(Mobile Device Management)製品を導入することにしました。

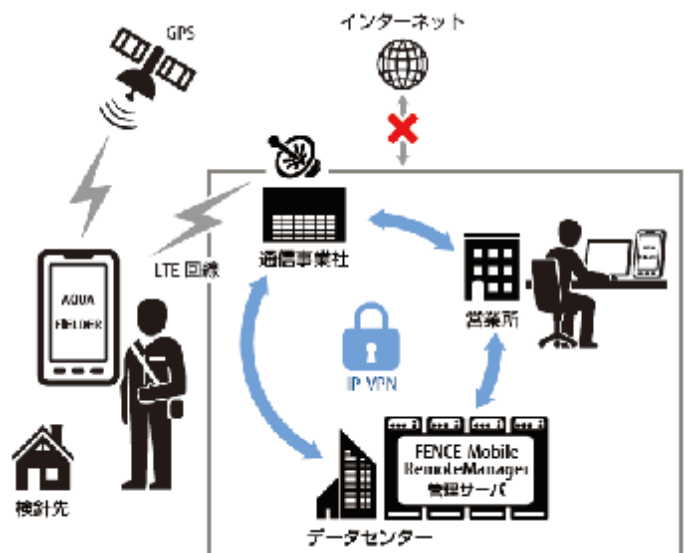
お客様の要望に応えるため都築電気では、閉域網の導入に携わると同時に、完全閉域網で利用可能なMDM製品を比較検討した結果、富士通BSCのFENCE-Mobile RemoteManagerを提案しました。

### ■FENCE-Mobile RemoteManager導入メリット・効果

#### ① 完全な閉域網ネットワークで運用

FENCE-Mobile RemoteManagerは、サービスのみを利用するクラウド型と、オンプレミスで構築できるパッケージ型がありますが、今回は、インターネットから完全に分離されたIP-VPNによる高セキュリティが確保されたネットワーク上にオンプレミス型で構築することで機密性を確保しました。

また、クライアント/サーバ間のデータ配信にはCloud to Device Messaging やGoogle Cloud Messaging™ for Android™ といった仕組みの他に、富士通BSCが独自に開発した通信方式があり、これを利用することで、完全な閉域網での運用を実現しました。



## ② 盗難・紛失時の情報漏洩を防止

万が一、スマートフォンの紛失や盗難が発生した際には、遠隔操作で端末ロックやデータの消去を実施できる仕組みを確保しました。

## ③ スマートフォンの資産管理運用負荷を軽減

従来は、表計算ソフトを使ってスマートフォンの台帳管理を行っていましたが、FENCE-Mobile RemoteManagerの「資産管理機能」を使うことで、ほぼリアルタイムでIT資産の状況が確認可能となりました。また、「アプリケーション配信機能」を利用することで、アプリケーションのキッティングやバージョンアップが遠隔で配信でき、端末一台ずつの作業時に比べ、運用負荷は半分以下に削減されました。

## ■ 今後について

今後「AQUA FIELDER」は、勤怠管理や業務ログ機能の追加の他、災害支援協定等に有効な調査業務機能やコミュニケーション機能、eラーニング機能の追加など更なる用途拡大も計画しています。

都築電気と富士通ビー・エス・シーは、今後も技術力やノウハウ、サポート力でICTを通じ、第一環境様を支援していきます。

### 【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

### 【関連ホームページ】

「FENCE-Mobile RemoteManager」紹介サイト:

<http://www.fujitsu.com/jp/group/bsc/services/fencemobile/smartphone/index.html>

### 【企業プロフィール】

#### <都築電気について>

都築電気株式会社は、1932年に設立。ネットワーク製品、ネットワークサービス、情報機器、ソフトウェアの「ICTソリューションサービス事業」と「電子デバイス事業」を2つの柱としています。「ICTソリューションサービス事業」では公共・金融をはじめ製造・流通・ヘルスケアの業種別体制で、企画、構築（設計・施工・開発）、運用サポートまで一貫した提案を行い、経営課題の解決をお手伝いします。また、ツズキグループは「13社・2,279名、国内109拠点・海外3拠点」で約2万社のお客様をサポートしています。詳しくは、<http://www.tsuzuki.co.jp/>をご覧ください。

#### <富士通ビー・エス・シーについて>

富士通ビー・エス・シーは、1963年に設立。ICTシステムのコンサルティング、システム構築、運用までをトータルに提供するシステムインテグレーターです。大規模社会システムや民間・官公庁の業務システム開発、家電等に組み込まれるエンベデッドシステム開発、クラウドサービスやアウトソーシングサービスなど、様々なニーズに応えるサービスを提供し、お客様のICT利活用を支えています。長年のシステム開発により蓄積されたノウハウと経験を活かして、ユニークなパッケージやソリューション製品の開発、スマートデバイスの業務利用などにも取り組んでいます。詳しくは、<http://www.fujitsu.com/jp/group/bsc/>をご覧ください。

以上

### 【FENCE-Mobile RemoteManagerに関するお問い合わせ先】

株式会社 富士通ビー・エス・シー サービスデスク

電話：03-3474-9525 Fax：03-3570-4070 E-mail：[spinfo@bsc.fujitsu.com](mailto:spinfo@bsc.fujitsu.com)

### 【報道関係者お問い合わせ先】

都築電気株式会社

経営企画室

コーポレートコミュニケーション担当 北浦

電話：03-6833-7780

E-mail：[keiki@tsuzuki.co.jp](mailto:keiki@tsuzuki.co.jp)

株式会社 富士通ビー・エス・シー

広報IR室

電話：03-3570-3481

お問い合わせフォーム：

<https://www.fujitsu.com/jp/group/bsc/contact/pr-ssl.html>

注)プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。